

日刊建設産業新聞

発行所

日刊建設産業新聞社

本社 東京都板橋区板橋1-10-0

〒173-0710 電話 03(3961)1691(代販)

ファクス 03(3961)2251

(http://www.konsan-news.com/)

支社

大阪、神奈川、九州、中国、東北、甲信越

支局

埼玉、中部

日刊建設産業新聞社

2014

直轄の橋梁補修で初採用

吊り足場クイックデッキ

組立工期を1/3に短縮

日綜産業

日綜産業(小野大社長)の吊り足場クイックデッキが国土交通省東北地方整備局酒田河川工事事務所発注の鈴地区構造物補修工事で橋梁補修工事(施工・マルゴ、組立・有賀組)に直轄工事で初めて採用された。

採用されたのは、同補修工事で施工する7橋のうち、約2か月を要する。しかし、クイックデッキを採用したことで組立てに要する工期を約3分の1に短縮するとともに少ない人数で完了できるため労務費も約4分の1に縮小できたことを確認している。組立は8月下旬に開始、9月上旬には完了している。同工事の施工を担当しているマルゴの蛸井寿昭現場代理人によると「吊り足場組立の工期が短縮できること、吊りチェーンが少なく広い空間が確保できるため足元の安全性が確保できる」と評価し採用に至った。



同社では、鈴地区の補修工事で他の橋では単管による吊り足場を採用しているところもあり、コストパフォーマンスと施工性、作業環境に安全性確保など比較対照しながら今後

の施工にも役立てていくことにしている。また、組立てを担当した有賀組ではクイックデッキの安全性および施工の有効性をいち早く評価し技術を探り入れ、社内トレーニングセンターを設置し、クイックデッキの普及に積極的に取り組んでいるところ。

同製品は、足場となる床ユニットをシステム化した簡単に組み立てられ地上で組上げた床ユニットを吊りチェーンで吊り上げて水平展開しながら床を

先行して吊り足場を完成させていくシステム。米国のセーフウェイ社と日綜産業が業務提携し、独占販売契約と生産移管契約を締結している。日綜産業では同社の3Sシステム等作業員がより安全に作業ができる環

境となる機能を追加した。今年6月に市場投入以来、すでに10件以上で納入・稼働しており、引き合いは100現場を越え注目度が高まっている。日綜産業では国土交通省のNETIS申請の準備を進めているところだ。